

ネット通販を活用 名産品売り込むぞ



生徒が商品を売るためのコツなどを学んでいる「ネット通販セミナー」

能代松陽高

来年1月までセミナー

地元の名産品をインターネット通販で全国に売り込むもうと、能代市の能代松陽高校の生徒が、「ネット通販セミナー」の授業に取り組んでいる。

セミナーは来年1月までに計14回を予定。マーケティングの基礎や商品ページの作成方法などを学び、実際に販売にも挑戦する。

講師を務めているのは市地域おこし協力隊の鈴木保博さ

らで、通販サイト「ヤフーショッピング」の担当部門に勤務した経験がある。セミナーには商業科の3年生15人が参加している。

7日のセミナーではネット通販の基礎について学んだ。鈴木さんは「どうやって売れるかを考えるため、まずは欲しい商品をどうやって探すかを考えよう」と語りかけ、生徒に通販サイトで商品を実

際を探してもらった。

生徒はキーワードを入力して検索し、画面に出てきた商品の写真をスクロールしながら探す手順を体験。鈴木さんは「欲しいか、欲しくないかを決めるのに0・2秒しかかからないと言われていて。買ってもらうためには写真を工夫するなどして、この0・2秒の戦いに勝たないといけない」とアドバイスした。

今後は市内の小売業者から協力を得て、実際に商品ページを作成してネット通販に取り組み。販売する商品は秋田杉の木工品や銘菓、農産物などを予定している。

セミナーに参加している今井愛さんは「買側側のニーズをつかむためのポイントを学べた。これからの取り組みに生かしていきたい」、佐藤春菜さんは「みんなでアイデアを出し合い、多くの人に買ってもらえる商品ページを作っていきたい」と話した。

(斎藤将典)